

平成27年9月18日(金)

仙 台 大 学
同 窓 会 会 長
鈴 木 省 三 様

仙台大学同窓会東海支部
支部長 松下邦雄

第15回 仙台大学同窓会東海支部総会報告書

謹啓

急激に秋の気配が漂ってまいりました。いつも当地区同窓会に対しまして、ご配慮いただき衷心から感謝申し上げます。

今年度東海支部同窓会に際しましてはご多忙の中、朴澤泰治理事長と副学長橋本 実教授のご臨席を賜りましたこと、誠に光栄の限りでした。又、お志のご配慮に重ねて御礼申し上げます。

会を重ねること15回(特別開催を含めると17回)の当同窓会は、全国の数ある支部会で突出した伝統と実績を自負しますが、実態はまだまだ難問山積です。しかし、400名余の同窓生と交信可能な状況と、100名の出欠席連絡「はがき」は心強く、会の発展に大きな力になるものと確信しております。

さて、名古屋の中心地にある「ホテル・メルパルク」で開催された今年度の同窓会では、15周年記念講演として、バンクーバーオリンピックの悪夢を乗り越え、見事にソチオリンピックに連続出場した私達の仲間、小室 希氏(仙台大学特別研究員)をお招きしました。大好評で、世界で活躍した同窓生を囲み、宴は盛り上がりました。今回の参加者は、常連とされる方に加えて懐かしい方々が多かったこと、更に初めて参加してくれた同窓生もあり、実に和やかな会に終始しました。二次会は、夜の名古屋の代名詞「錦三」・錦三丁目に繰り出しました。誠に愉快的な夜で、至福の一時を過ごした方々は、その余韻に浸っていることでしょう。

最後に母校仙台大学の隆盛と、同窓会の益々のご発展を心から祈念申し上げます。

敬具